



# 大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyō

Elementary School

<http://www.taisyō.obihirō.ed.jp>

平成29年2月27日

No.76

2月は逃げるといわれるように、早いもので今週から3月に入ります。今、学校では、年度末を控え、5年生が中心となって6年生を送る会の準備や児童会委員会などの反省など、今年度の締めくくりに向けた取組に余念がありません。また、天気予報の最高気温もプラスになる日も多く見かけるようになる、少しずつ春の訪れを感じられるようになってきました。今号では、過日取組をお願いしました「ノーテレビデー(タイム)」や子どもたちの様子を中心にお伝えしていきます。

## ノーゲーム・テレビデーに続々と感想が寄せられました！！

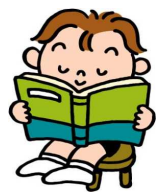
過日、取組をお願いしました「七中エリアファミリー・ノーテレビ、ノーゲームデー」にご協力をいただきありがとうございました。今回は9名の方々から取組の様子や感想をいただきました。

～ 保護者のみなさんから寄せられた感想などです ～

- 帰宅時間も遅い日だったので、やることをやり終えると寝る時間という感じでした。次回は、休日など家にいる時間が長い時にやってみたいと思います。
- 少年団で帰りが遅かったが、ゆっくり学習に取り組む時間があつたように思います。
- 普段からテレビをつけていないので、子どもたちは全然、気にならないと思います。子どもの見たい番組がある時は、録画しておいて、土・日の時間がある時に見えています。
- ちゃんとできていたので次回は、もう少し上のができればいいと思います。
- 食事の時は、いつもテレビは見えていないのですが、改めて良いことだと感じました。1日中、ノーテレビ・ノーゲームデーは辛いものがあるので、やり方を変えた方がいいと思います。
- 今回は、忘れていて取組めなかったが、次回はしっかり取り組みたいと思います。
- 2月11日に実施しましたが、当日は他の家電の使用が多かったのもあり、節電も意識したので、ニュース以外のテレビ番組は見ませんでした。静かな時間が過ごせて良かったです。
- ノーテレビデーを忘れていました。普段から食事中はテレビを消すようにしています。
- 基本、食事時間はテレビを見てると進まないの、次の日が休日でないかぎり見せることはありません。また、普段もテレビはそんなに見ないです。1日に1時間、テレビをみるかゲームをするくらいです。休日はテレビを見たり、ゲームもしますが長い時間ではないので、特に、ノーゲーム・ノーテレビを意識していません。

～ 子どもたちから寄せられた感想などです ～

- 家族との時間が増えて良かったです。
- 少年団から帰ってきて、もう疲れていたの、テレビなどは、見なくていいって感じでした。
- いつもテレビをつけていないので、特に思うことはありませんでした。
- 時間を決めたので、ちゃんとできました。
- いつもより節電を意識して生活することができました。
- ノーテレビデーを忘れていてできませんでした。
- ノーテレビデーは、おもしろくない。テレビを見ながらごはんが食べたかったです。
- ごはんを食べる時、テレビを見ないのはいいことだと思います。



## ノーゲーム・テレビデーを終えて

今年で4回目となった本取組には、多くの方々から感想等が寄せられました。また、今年度は、七中エリアファミリーの取組(こぶき保育所・本校・愛国小・学童保育所・七中)へと深化させたこともあり、年3回実施することができました。これまで、保護者の皆さんから多くの感想等を寄せていただきましたが、本取組が定着しつつあること、肯定的に受け入れていただいていることなどが見えてきます。

さて、ご家族と過ごされた団らんはいかがだったでしょうか？ 2時間足らずの短い時間でしたが、そこから見えてくるものはたくさんあるように感じました。今後も、ノーテレビタイムやノーゲームタイム、読書タイム、さらには、語らいを楽しむ時間などに取り組んでいただき、これまで以上に家族とのだんらんを大切にいただければと思っています。今、学校では、家庭学習の充実をはじめ、子どもたちが『望ましい生活習慣の確立』に向けて保護者の皆さんと手を携えていきたいと考えているところです。今後も、ご家庭での取組やその様子などをお寄せいただければ、大変助かります。

ご理解とご協力をいただきまして本当にありがとうございました。

皆様のご協力に感謝いたします。本当にありがとうございました。

## 2月は、出前授業が面白い！！ ～子どもたちの瞳の輝きが増えています～

これまで本校では、ゲストティチャーを招いての出前授業を実施してきました。今回も、子どもたちが終始笑顔で楽しそうに取り組む姿が印象に残りました。

### 4年 出前授業（2月21日） ”アイヌの人々の文化にふれる体験教室”

4年生で、社会科の授業の一環として『アイヌの人々の文化にふれる体験教室』を実施しました。講師には帯広百年記念館の長谷仁美さん、帯広市教育委員会の荒田裕樹さんをお迎えし、子どもたちに向き合っていました。

アイヌの人々の生活の様子をクイズ形式で解答したり、アイヌの人々の履物(チェブケリ:サケ皮製の靴)を触ってみたりと普段の生活では体感できないこともたくさん学習することができました。また、アイヌの人々の伝統的な楽器『ムックリ』づくりにも挑戦しました。最初は、思うように響かせることができず、悪戦苦闘の連続。アドバイスをを受け、ひたすら糸をつま弾くうちに、その共鳴音は少しずつ聞こえてくるようになってきました。

以下、体験教室の様子を紹介していきます。



～ アイヌの人々の暮らしにふれることができました～



サケはアイヌ語でカムイチェ(神の魚)と呼ばれ、アイヌの人たちにとって重要な食料でした。また、サケの皮を使って靴を作っていました。この靴のことをアイヌ語でチェブケリ(「魚の靴」の意味)というそうです。履くときには、植物の繊維で作った靴下を履き、さらに乾燥させた特定の草を足のまわりに入れていました。このチェブケリは、軽くてとても暖かいものだったそうです。

\* 上の写真は、長谷さんが作ったチェブケリを手に感触を確かめる子どもたちの様子を収めたものです。

アイヌの人たちは、食用や薬用になる植物を数百種類も知っていたといわれ、春から秋にかけて、さまざまな植物を採集していたそうです。十勝では春から夏にかけて、ギョウジャニンニク、フキトウ、ニリンソウ、フキ、エゾエンゴサク、オオウバユリなどたくさんの植物を採集していました。

特に、オオウバユリの鱗茎からは保存食に適したでんぷんがたくさん取れるので、大量に採集したそうです。こうして採集した植物は、すぐに利用されて食卓に並ぶほか、その多くは冬のための保存食、あるいは薬として、天日で干してから家や食料庫に保存されていたそうです。



\* 右の写真は、自身で作られたオオウバユリのでんぷんを手にしながらい説明をいただいた講師の長谷仁美さんです。この後、子どもたちはオオウバユリのでんぷんを手にしていました。



～ ムックリ(口琴)づくりにチャレンジしました！！～

マウスハーブに属するアイヌ民族の伝統的な楽器。今のは竹で作られていますが、かつてはネマガリダケやノリウツギで作られたといわれ、地方によってはムックリと呼ばれています。紐を引いて弁を振動させ、口の中に反響させることによって音を出していきます。

\* 左の写真は、ムックリの作り方を教えていただいた講師の荒田さんと、彫刻刀を使い、ムックリづくりに取り組む子どもたちの様子を収めたものです。

最後に子どもたちの感想を紹介します

私は、本当のサケの皮のくつを初めてさわりました。とても硬かったです。ムックリの演奏はむずかしかったけど、早く音を出せるようになりたいです。お忙しい中、本当に来ていただきありがとうございました。

この間は、アイヌの人々の文化について教えてくれてありがとうございました。私は、百年記念館や教科書でしか、アイヌの人々のことを知らなかったの、色々教えてもらえて嬉しかったです。楽しみだったことは、ムックリをひくことだったので、ひくのが楽しかったです。早く、音をだせるようになりたいです。

長谷さん、荒田さん、お忙しい中、子どもたちに向き合ってください本当にありがとうございました。

授業参観を実施します。多くの方の来校をお待ちしております

過日ご案内しましたように明後日(3月1日)、明々後日(3月2日)には、今年度最後となります授業参観日・懇談会を実施します。多くの方々のご来校をお待ちしております。また、明後日(3月1日)の昼休みには、『お話し会』が予定されています。少し早めに来ていただき、あわせてご覧いただければと思っています。なお、駐車につきましては、校舎北側またはグラウンドにお願いします。足元が悪くなっておりますのでご注意ください。また、お帰りの際は、スクールバスの発車時刻と重なることもありえますので、児童の安全確保にご協力ください。どうぞよろしくお願いいたします。